

平田村誕生 70 年と建設事業の竣功を祝う 平田村合併 70 周年記念式典 並びに公共事業総合落成式を開催



「平田村合併70周年記念式典」並びに「公共事業総合落成式」が11月15日、平田村勤労者体育センターで盛大に開催されました。式典には、県副知事、国会議員、県議会議員、近隣市町村長などの来賓、受賞者ら約250名が出席しました。合併70周年という節目を迎え、村の発展に尽力された先人への敬意を表するとともに、今後の村づくりの一層の推進を期する機会となりました。

式典に先立ち、村内のよさこいチーム「絆」によるよさこいの演舞が披露され、力強く華やかな踊りが会場を盛り上げました。演舞終了後、三本松利政副村長の開式のことばで式典が開式されました。

式典では、澤村和明村長が「先人たちのたゆまぬ努力に支えられ、時代に即した村づくりに取り組んでまいりました。これから住んでみたい村・住んで良かった村・訪れて良かった村を目標とし、村政の更なる発展に向けて努力してまいりたいと存じます」と式辞を述べ、佐藤孝雄村議会議員があいさつをしました。





飛躍を願い万歳三唱



受賞者代表挨拶をする瀬谷文雄元消防団長

引き続き、村の発展に貢献した功労者の方々や過去10年間の公共事業に携わった建設業等の方々に感謝状が贈られ、その功績に対し会場から温かい拍手が送られました。鈴木正晃福島県副知事、玄葉光一郎衆議院副議長、根本拓衆議院議員、金子恵美衆議院議員、森雅子参議院議員、山田真太郎福島県議会議員、江田文男石川地方町村会長(浅川町長)から村政の発展を願う祝辞が述べられました。

受賞者全189名を代表して、特別功労受賞者の瀬谷文雄元消防団長があいさつをされ、式典の最後には、荒川英義村議会副議長の音頭により出席者全員で、平田村の70年のあゆみを振り返るとともに、さらなる飛躍を願い万歳三唱で式典を閉じました。

会場内には、「広報で振り返る平田村」と題して、「広報ひらた」創刊号「平田村報(昭和30年11月1日発行)」から令和7年11月号までの表紙などを展示したコーナーが設けられました。出席者からは「懐かしい」「当時の様子を思い出す」といった声が多く寄せられました。

各時代を映し出す表紙の数々に、多くの出席者が足を止めて眺める姿が見られ、村の歴史を振り返る貴重な展示となりました。



会場展示「広報で振り返る平田村」